

製品名: AHNAK2 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM82995**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|---|
| 説明 | マウスモノクローナル抗体 |
| 宿主 | ねずみ |
| 応用 | IHC,FC |
| 反応性 | ヒト、マウス、ラット、ウサギ |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | Mouse IgG1 |
| クローン性 | モノクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 1mg/ml |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|--------------------------------|
| 希釈倍率 | IHC 1:200-1:400,FC 1:200-1:400 |
| 分子量 | 61.6kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|----------|
| 遺伝子名 | AHNAK2 |
| 別名 | C14orf78 |
| 遺伝子 ID | 113146.0 |
| SwissProt ID | Q8IVF2 |
| 免疫原 | - |

背景

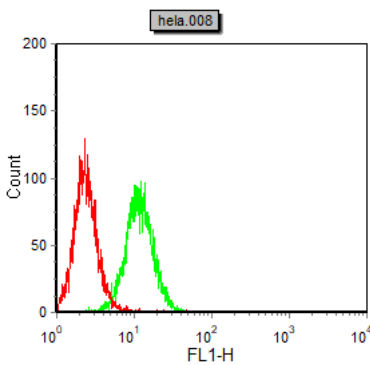
この遺伝子は大きな核タンパク質をコードしています。コードされているタンパク質は、比較的短い N 末端と長い C 末端からなる三分節ドメイン構造を有し、それらは多数の反復配列によって区切られています。N 末端の PSD-95/Discs-large/ZO-1 (PDZ) 類似ドメ

インは、安定なホモ二量体の形成に機能すると考えられています。コードされているタンパク質は、カルシウムチャネルタンパク質と会合することで、カルシウムシグナル伝達に関与している可能性があります。選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生じます。[RefSeq 提供、2017年4月]

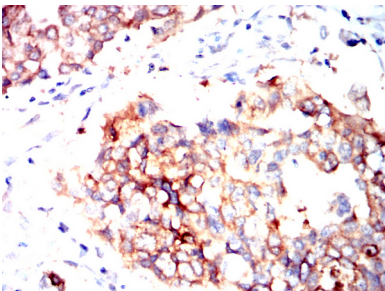
研究分野

-

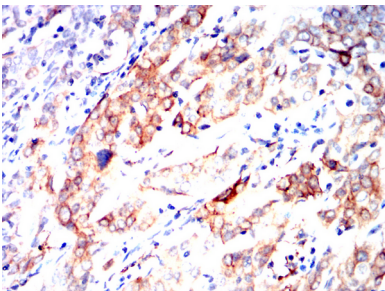
画像データ



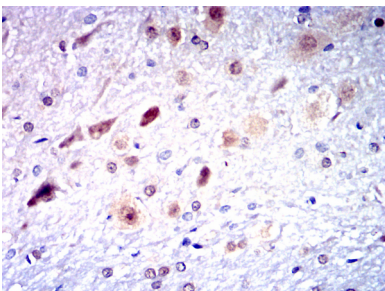
AHNAK2 マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (赤) を使用した HeLa 細胞のフローサイトメトリー分析。



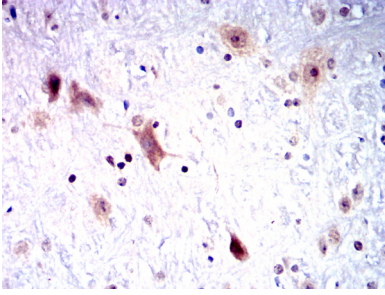
ALDH2 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト肺癌組織の免疫組織化学分析。



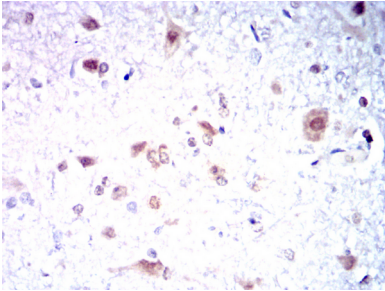
ALDH2 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト子宮頸癌組織の免疫組織化学分析。



ALDH2 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ラット小脳組織の免疫組織化学分析。



ALDH2 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋マウス小脳組織の免疫組織化学分析。



ALDH2 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ウサギ脊髄組織の免疫組織化学分析。